

謹賀新年

レダに咲く美しいサボテンの花

地球規模で起きている問題だけに、地球規模で真摯に取り組まなければ、解決しません。

皆様のご協力で、当会もパンタナールの持続的開発と、自然環境保護及び発展途上国の教育振興を軸に、活動を進めて参りましたが、今年は昨年立ち上げた農業、林業、牧畜、水産、メンテナンスの五つのプロジェクトを更に具体化して参りますので、各分野での人材派遣や情報の収集、集会など、積極的な皆様のご協力を期待いたします。また、レダの観光牧場実現化と移住基盤確立、植樹活動、観光エコツアー、国際協力青年ボランティア隊派遣、パラグアイへの教育支援とアスンシオン大学との共同研究事業促進、各種研修会、視聴覚資料拡充など、山積みの課題にチャレンジして、次世代に拓せる明るい未来を実現して参りたいと思っておりますので、本年も宜しくご指導、ご協力の程お願い申し上げます。



飯野貞夫事務総長挨拶
謹賀新年

地球環境問題が次第にクローズアップされて来ています。テロは衝撃的事件ですが、環境問題は、長の患いの病気のようなもので、ジワリと来ますので、気がつきにくいのですが、テロ以上に人類の首を絞めているようなものです。



神山威会長挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様のご支援のお陰で、当会は昨年、パラグアイのインディヒナのカトルセデマジョ村に小学校を建設して寄贈することが出来、青年ボランティア隊の活動と共に大変喜ばれました。こうした地域の教育振興協力に加え、レダも第一次建設を終え、観光牧場へ向けて、様々なプロジェクトが検討されています。

一方、植樹活動も一段と木々の成長は進み、植樹園の至る所で美しい色とりどりの花を咲かせ、実をみのらせ、鳥も沢山飛び交っています。是非皆様も一度ならず二度三度と訪れて、自然の恵みの感動を味わって下さい。

今年も大いに飛躍前進していきましょう。本年も当会の発展と共に、皆様のご健勝と勝利を祈ります。



マジヨ村の小学校建設が終了し、12月4日贈呈式を行なう。(第6回国際協力青年奉仕隊により8月末から建設が始まる。)



挨拶する飯野事務総長 05.12.04



カトルセ デ マジヨ村小学校
贈呈式挨拶文(〇五・十二・四)
南北米福地開発協会
飯野貞夫事務総長

ボンディアス!

カトルセ デ マジヨ村の皆様
の為の学校をやっと完成させ、レ
ダ駐在の海軍及び警察の方々立会
いのもと、本日この村に寄贈でき
ますことをうれしく思います。私
は今年の9月にこの村を中田先生の
案内で訪問し、調査しました。

校長先生はじめ、村の代表の方々の
要望もお伺いしました。南北米
福地開発協会の神山会長とも相談
し、理事会に報告書を提出して、
一昨年のディアナ村、昨年のエス
ペランサ村の学校建設をして寄贈
してきた基盤の上で、今年はこの
村に学校建設をして差し上げるこ
とを決定しました。

直ちに、レダで基地建設をして
きた日本人によって、具体的建設
プランが練られ、建設プロジェクト
チームが生まれ、実行に移され
ました。以来、多くの方々のご協
力によって、今日の贈呈式の運び
となりました。ここで、陣頭指揮
を現場で取ってご苦労してくださっ
た、中田先生、上山先生、はじめ
リーダーの皆様へ感謝して、拍手
を送りましょう。
また、労働に携わった皆様にも感
謝の拍手を送りましょう。



そして村の協力してくださった方々に拍手を送りましょう。また、学校建設にあたって、お金持ちばかりが寄付をしてくれたのではありません。皆様の村の事を聞いて、中には自分の食事を抜いて、その費用分を寄付してくれた夫人もいます。自分の服を買うお金を我慢してささげてくれた子供もいます。

何よりも遠い日本やアメリカで支援をして下さった皆様に、届くように大きな感謝の拍手を送りましょう。更に、この間、当会はアメリカと日本から国際協力青年奉仕隊を送りましたが、覚えておりますか。子供達は一緒に遊んだり、勉強したでしょうか？

食事を作ってくれた婦人もここにいますか？踊りを踊ってくれた酋長さんのことも彼らは覚えていきますよ。

たとえ数日でも、この村で共に過ごしながら学校建設に携わってくれた彼らにも拍手をしましょう。目標を掲げて、沢山の方が協力し合えば、色々なことが出来ます。

自分のことしか考えない人は人間としての質が低い人ですから、多くの人々から受け入れられませぬ。他の為に生きる人は、人間としての質が高められます。

多くの人々から受け入れられ、喜びを沢山味わうことが出来ます。

こうした学校は公のものです。子供達は言うまでもなく、大人達も、大切に管理して下さい。どういふことが分かりますか。壊したり、学校のもの盗んだりする人は、自分勝手ですから質の低い人になってしまいます。汚したり、子供達に危険なものを持ち込んだりすることも被害を与えますからいけません。

大切に管理するという事は、学校建設の目的である「将来を担う子供達の学習がしやすい環境をこころ配りする」ということです。いつも気持ちよく勉強できるように、きれいに掃除をしてください。窓が壊れたりしたら積極的に工夫してなおしてください。学校の周りに花壇を作るのも、情操教育にいいことです。

色々皆さんで努力してください。誰かがやってくれるのを待っている姿勢では、この村は発展しません。皆で関心を持って、少しでもより良くしていこうという気持ちが大切です。

それが子供達の心を育ててくれます。先生や子供達だけでなく、村の皆様、この学校を大切に管理することを約束してください。次回私が訪問することがあったら、大切に管理されているかを見ます。その心が高ければまた、何か皆様の為になることを計画するかもしれません。

もし、低いと判断されれば、この村に来ることは難しくなります。分かりますか。

この学校で勉強する子供達が、家族のため、村のために、パラグアイという国の為に、そして神様の為に喜ばれる立派な青年に育つてくれますよ。心から祈りながら、今日の祝典の私の挨拶といたします。ありがとうございました。

事務局より

昨年も多くの方の皆様の心温まる支援を受け、八月末から青年奉仕隊がマジヨ村にて活動を行い、その後、彼らが発した九月中旬からはレダで奉仕する南北米福祉財団の会員が継続して、学校建設に携わってきました。

学校建設完成までの全ての費用は皆様の協力によって集められたものです。心から感謝申し上げます。今年も継続して、国際協力青年奉仕隊をパンタール地域に送り、地域の発展に寄与していければと計画しておりますので宜しくお願いいたします。

青年奉仕隊の思い

